

和歌山県「自民党政策集」

決断と実行。



自由民主党和歌山県支部連合会

<http://www.jimin-wakayama.jp/>



和歌山県の可能性を、 活かす自民党の政策

私たちのふるさと和歌山は、気候温暖、風光明媚、住んでよし、訪れてよしとみんなが自慢できる故郷です。

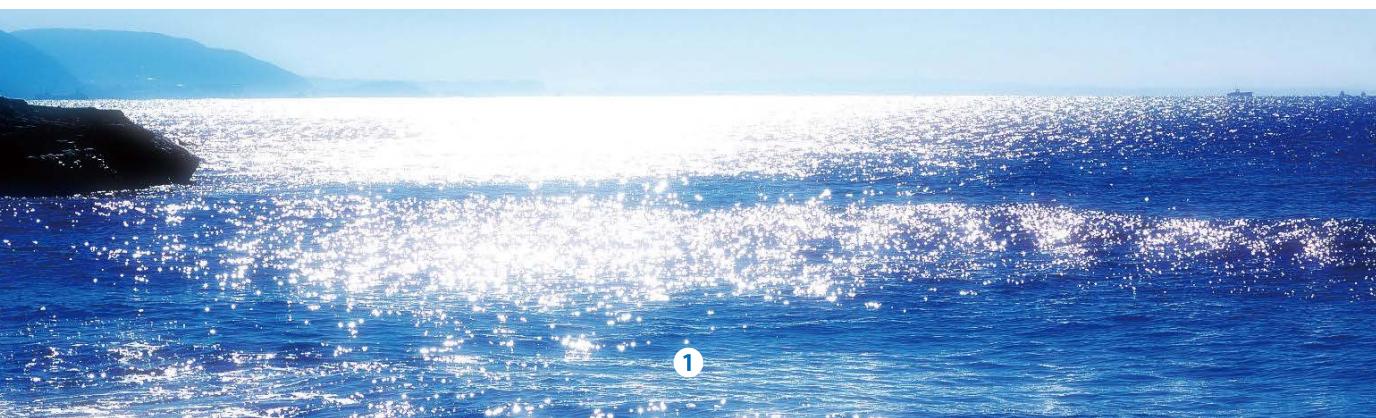
紀伊半島は高野山と熊野に代表される歴史に名高い観光地であり、有吉佐和子さんの小説『紀ノ川』「有田川」「日高川」はふるさとの生活様式を鮮やかに伝えてくれています。中央文壇でもご活躍の神坂次郎氏等、私たちが誇る郷土の代表的文化人も、ロマンに満ちた和歌山の魅力を機会ある毎に描いてくれています。

この素晴らしいふるさとを県民の皆さんと共に、もっと豊かなふるさとにしていくことが政治の重要な役割です。

県選出国会議員と協議し、さらに知事および県・市町村議会議員、市町村長の皆さんと意見を交わしながら次のようなテーマでまとめてみました。

政治は実行することが大事です。同志の皆さんと力を合わせて、豊かなふるさとの創造にがんばります。

自民党和歌山県連会長・衆議院議員 二階 俊博



日本国憲法の改正を目指します!

4項目の条文イメージ

自衛隊の明記 (条文の新設)

「国民を守る」規定なし



日本国憲法には、国家最大の使命である国民を守るために規定がありません。国民の生命・財産を守るために必要不可欠な存在である自衛隊を、解釈に委ねるのではなく、平和主義のもと、憲法に明確に位置付けます。

緊急事態対応 (条文の新設)

緊急事態条項なし



南海トラフ地震や首都直下型地震などの大規模災害や感染症まん延等の有事においても、国会機能が維持できるよう、国會議員の任期延長を規定し、国会が機能できない事態の対処として内閣の緊急政令を規定します。

合区解消・地方公共団体 (条文の拡充)

合区解消の必要性



広域自治体(都道府県)と基礎自治体(市町村)など地方自治のあり方を明確化し、一票の格差を是正しつつ、地域の民意を適切に反映できる選挙制度(参議院については合区を解消し、少なくとも各県一人)を実現します。

教育充実 (条文の拡充)

教育充実の必要性



生涯教育・デジタル時代に対応した教育の理念を明記します。また、家庭の経済事情に左右されず教育を受ける機会を確保するなど、教育環境の整備を国の責務として定めます。私学助成の規定についても適切な表現にします。

人権



交通



**人権侵害や不当な差別のない、
人権が尊重される社会を
実現します。**

人権尊重

人権とは、すべての人が生まれながらに持っている、人として幸せに生きていくために必要な、誰からも侵されることのない権利です。しかし、依然として、女性や子供、高齢者、障害のある人等に対する人権侵害や同和問題など、さまざまな人権問題が発生しています。近年は、家庭における暴力や虐待、インターネット上での人権侵害や職場などにおけるハラスメント、性的少数者に対する偏見などが問題となっています。あらゆる人権問題の解決に向けた施策を着実に推進します。

- 女性の人権
- 外国人の人権
- 障害がある人の人権
- 犯罪被害者等の人権
- 子供の人権
- 同和問題
- 高齢者的人権
- 性的少数者の人権
- 感染症（ハンセン病、HIV、新型コロナ等）・難病患者等の人権
- インターネット上での人権

総合的な交通・生活インフラを整備し地域を元気に。

紀伊半島高速道路

近畿自動車道紀勢線の延伸や京奈和自動車道の県内全線開通によって、アクセス向上や定時性確保が図られたことで、企業進出や観光客の増加など大きな整備効果が生まれています。大阪・関西万博の効果を最大限発揮するため、紀伊半島一周高速道路の早期実現及び「印南一南紀田辺間」の4車線化の着実な実施により、高速道路ネットワークのさらなる整備を推進します。

関西空港・南紀白浜空港

県経済の発展と観光振興を牽引するため、関西国際空港の機能強化や利用促進、連絡道路の整備などアクセス向上を図ります。また、地域の観光からビジネスまであらゆる面において必要不可欠な白浜空港について、羽田便の増便や国際便の誘致を推進するとともに、空港と各観光地等を連絡する道路整備や公共交通機関の利便性向上を図ります。

フリーゲージトレイン

和歌山が発想の源であり、和歌山の劇的な発展に繋がる「フリーゲージトレイン」の早期実現化に向けた技術開発の推進と早期導入に強力に取り組みます。

情報通信基盤

山間部を中心として点在する携帯電話不感地区の解消を図るとともに、今や生活に必要不可欠となったインターネット接続環境について、超高速・超低遅延・多数同時接続等の通信が可能となる5G（第5世代移動通信システム）の整備を促進します。



感染症対策

**感染症から
命と暮らしを守ります。**

医療提供体制の整備

適切な医療提供ができるよう、引き続き病床と医療従事者の確保を図ります。また、今般の新型コロナウイルス感染患者への対応を踏まえ、病床の在り方や感染管理の専門人材の育成など今後の新興感染症の発生に対応できる体制の構築を目指します。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の事業継続と雇用維持を図るため、国による各種支援（支援金・補助金、需要喚起策、資金繰り対策）の延長・拡充に取り組むとともに、地域においても実情に応じた独自の支援策を実施します。



医療・福祉

**安心して暮らせる
医療・福祉体制を充実させます。**

医師の確保

和歌山県の人口10万人当たり医師数は318人と全国平均を上回っていますが、和歌山市に集中し、地域間で大きな格差が生じています。また、産科をはじめとする特定診療科間の偏在とあわせて医師確保に全力で取り組みます。

地域医療体制の整備

どこに住んでいても必要な医療が受けられるよう、救急医療や産科医療体制を堅持するとともに、安心して子育てができるよう小児医療体制の充実を図ります。また、がん診療連携拠点病院を中心としたがん診療体制を強化します。さらなる高齢化の進展により増加が見込まれる在宅医療の推進を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現します。

子育て支援

結婚、妊娠・出産、子育てに関する相談・支援体制を強化するとともに、延長保育や病児保育、放課後児童クラブの拡充、待機児童の解消など仕事と子育ての両立できる環境整備を進めます。また、多子世帯の奨学金制度の充実など子育て家庭への経済的支援を強化します。

介護支援

今後の要介護認定者の増加に備え、十分な施設整備や在宅サービスの充実を図ります。また、介護人材の育成・確保に取り組むとともに、介護職員の賃上げを含む処遇改善に取り組みます。

農林水産業

果樹王国わかやまの
農林水産業を守ります。

販路の拡大

県産品の国内外でのブランド化に取り組むとともに、県産果実の輸出拡大に向け、有望な新規市場への輸出解禁要請と検疫条件の早期合意について国に働きかけていきます。また、高級販路など県内事業者にとって有利な販路を開拓するとともに、取引需要が拡大するe-コマースによる販売を加速化させます。

スマート化の推進

環境制御システムやドローン等のICT技術の導入により農林水産業のスマート化を進め、高品質化や生産性の向上を図ります。

経営の強化

農業・水産業の複合経営やグループ化等を推進することで、経営基盤の強化を図るとともに、低コスト林業の推進や公共建築物等の木造・木質化を促進し、林業・木材産業の成長産業化を進めます。

担い手の育成

年々減少し高齢化が進む農林水産業の担い手を確保するため、優れた経営感覚や高い技術を持った担い手や農業士など中核的役割を担う人材を育成するとともに、技術習得支援など新たな就業者が参入しやすいしくみを構築します。

経済

産業を支える
中小企業の成長を支援し
雇用を拡大します。

中小企業の競争力強化

コロナの影響が長期化していることから、引き続き中小企業への金融支援等に万全の対策を行います。一方、社会全体のデジタル化が急速に進展する中、中小企業のDXを強力に支援することで生産性の向上につなげるとともに、産業界で加速する脱炭素化など新たな課題に対応するため、事業創出、研究開発から販路開拓まで段階に応じた支援を行い、中小企業の競争力を強化します。

新たな産業の創出

社会・産業構造の変化に伴う新たなビジネスチャンスを活かした創業・起業を促進するとともに、コロナ禍をきっかけとしたICT企業等の地方回帰や、サプライチェーン分断に伴う製造拠点の国内回帰の動きを捉え、戦略的な企業誘致活動を強化します。

雇用の拡大

高校生や大学生等の県内就職を促進し、和歌山で育った若者が県内産業の成長を支えるしくみを強化します。また、U・I・Jターン就職を強化するとともに、職場実習などの提供により、人材需要のある分野への離職者の再就職を支援します。

観光



防災



世界遺産とすばらしい自然、
そして、おもてなしの
観光和歌山を。

ポストコロナを見据えた観光

コロナ禍は観光産業に大きな打撃を与え、今なおその影響は続いていますが、観光地には徐々に人出が増え始め、海外との往来も段階的に再開されているところです。今後の観光需要の急拡大に備え、「サイクリング王国和歌山」をはじめ多様な旅のスタイルや嗜好に対応した取組や、ワーケーションの定着、サステイナブルツーリズムの促進に取り組み、観光産業の再生・発展を支援します。

和歌山の魅力発信

和歌山県には世界に誇る観光資源があります。観光客のニーズや市場のトレンドに合った多様な観光プランを構築し、多言語ウェブサイトやSNS等のメディア展開などを通じて、和歌山の魅力を国内外に発信することで、誘客活動を強化します。

海外からの誘客促進

インバウンドの段階的回復に向け、海外メディア等を通じたプロモーションを展開するとともに、関西広域で連携した周辺観光ルートや首都圏からのプラスワントリップの提案を行い、誘客促進を図ります。また、観光周遊のデジタル化や飲食店の多言語対応など受入環境整備を図り、快適で安心な観光地づくりを進めます。

大地震や風水害から
皆さんを守ります。

耐震化の推進

近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震への対策として、住宅や医療施設など多くの人が利用する建築物の耐震化、緊急輸送道路沿道建築物の耐震化、家具固定やブロック塀の安全対策を進め、建物倒壊による犠牲者ゼロを目指します。

津波対策

津波到達までの時間が短く、安全な場所への避難が困難な地域（津波避難困難地域）について、堤防・護岸の嵩上げや耐震化、避難路や津波避難タワーの整備等の対策を実行し、津波避難困難地域の解消を進めます。

風水害・土砂災害対策

近年増加傾向にある集中豪雨や台風による河川の氾濫等に備え、主要河川等の整備や、下水道、農業集落排水路の整備を一体的に進めることで、総合的な洪水対策に取り組むとともに、砂防関係施設の整備を進めます。

自由民主党和歌山県支部連合会

住所:和歌山県和歌山市卜半町35

TEL:073-431-3441

FAX:073-431-4109

<http://www.jimin-wakayama.jp/>

E-mail:info@jimin-wakayama.jp

令和4年